



ふだんの暮らしをしあわせに!!

社協だより

2021年
令和3年 2月 発行

介護サービス事業所の新名称を

目標1
真実の自分で
きいて
本音のおつきを
しよう



目標2
真ん中に立ち
良質な人間関係を
築こう



目標4
利用者様の
気持ちを大切に
するサービスを



ロゴマークには、葉が重なって花となるように、職員一人ひとりが互いに協力しあうことで“最上町に一輪の花を咲かせよう”という思いを込めています。

目標3
やさしく明るく
さわやかなサービスを
心がけよう

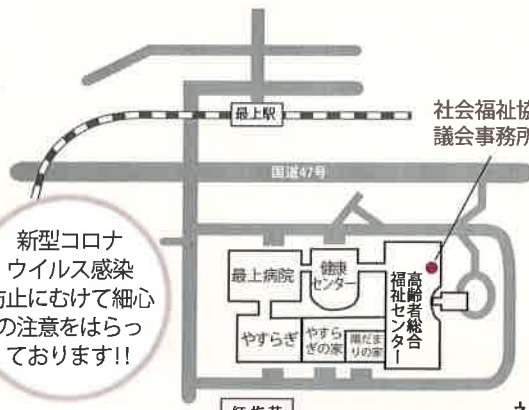
- ①指定居宅介護支援事業所「グリーン」
- ②指定通所介護事業所「グリーン」
- ③指定訪問介護事業所「グリーン」
- ④指定訪問入浴介護事業所「グリーン」
- ⑤指定訪問介護支援事業所「グリーン」

に決定

より質の高いサービスの提供にむけて、町社協が運営する5つの介護サービス事業所の新名称を職員みんなで考えました。今年4月からの正式運用を予定しています。



新型コロナ
ウイルス感染
防止にむけて細心
の注意をはらっ
ております!!



・全職員による36の改善プロジェクト	2
・令和2年度定例表彰式	3
・敬老会等の主なイベント紹介	4
・令和元年度社協決算、事業報告	5
・ほっとらいん 健康クラブ、介護サービス事業所より	6~7
・令和2年度社協会費について	8
・共同募金について	8

社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しています



令和2年度 定例表彰式

晴れの受賞おめでとうございます

去る11月13日、中央公民館で「令和2年度最上町社会福祉協議会定例表彰式」を行いました。受賞された方は、福祉事業所の職員や福祉関係職者の功労表彰17名と、善行表彰2団体のみなさまです。なお、今回は「最上町老人クラブ連合会」との合同開催となりました。

功労表彰

- ・ 押切 謙二 社会福祉協議会職員
- ・ 佐藤 善丈 社会福祉協議会職員
- ・ 遠藤 悦子 社会福祉協議会職員
- ・ 野口 信子 最上町民生児童委員
- ・ 大場 啓一 最上町民生児童委員
- ・ 中島 一正 最上町民生児童委員
- ・ 高山マサ子 最上町民生児童委員
- ・ 結城えみ子 最上町健康福祉推進員
- ・ 渡部 勝乗 最上町健康福祉推進員
- ・ 大沼 昭雄 最上町健康福祉推進員
- ・ 二戸 幸子 最上町健康福祉推進員
- ・ 渡部 裕貴 社会福祉法人豊寿会職員
- ・ 下山 由香 社会福祉法人豊寿会職員
- ・ 山田 美幸 社会福祉法人豊寿会職員
- ・ 庄司名奈子 社会福祉法人豊寿会職員
- ・ 石山栄美子 社会福祉法人豊寿会職員
- ・ 伊藤 千聡 社会福祉法人豊寿会職員

善行表彰

- ・ 株式会社大沼建設
代表取締役社長 大沼 芳明
- ・ 山形曹洞宗青年会
- ・ 最上支部寒修行会

※敬称略

※紙面の都合により、老人クラブ連合会表彰の受賞者は割愛させていただきます。

9名が資格取得し修了

令和2年度介護職員初任者研修

コロナ禍ではありましたが、高校生4名、一般受講者5名の計9名が約5か月間の長きにわたって講義や実習等のカリキュラムをすべて終了し、最終段階である修了試験をみごと合格。学校、関係機関や講師のご協力を得ながら、受講生全員が研修を修了することが出来ました。

受講生は「研修の中で学んだことを大切にしながら、利用者を笑顔に出来るような介護員になりたい」と笑顔で話してくれました。介護職員初任者研修を受講し、資格取得したことがきつと役立つことと期待しています。

なお、この研修会は平成11年から開催しており、今年で高校生132名と一般44名の計176名の方が資格を取得されました。



介護ヘルパーさん



登録制度 はじめます

社会福祉協議会では、今年4月から訪問介護ヘルパーの登録制度をスタートします。この制度は、自分の働ける日時をあらかじめ登録しておき、都合の良い時に働いていただくものです。登録に必要な資格は、介護職員初任者研修を修了された方、または介護福祉士の資格取得者です。資格を生かしたい方、介護の経験を積みたい方等、意欲のある人材を募集します。お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先

最上町社会福祉協議会
Tel 0233-43-3180

上記のほか、資格をお持ちでない方や未経験の方についても、お気軽にお問い合わせください。



戦没者追悼式 7/31

令和2年は戦後75年を記念する式典をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防により式典の中止が考えられました。

しかし、遠く故郷を想い尊い命を捧げた420柱の英霊に、遺族の方々と平和への願いを込めお祈りすべきとの思いから、規模を縮小、時間の短縮、感染症予防の徹底を図り「令和2年度最上町戦没者追悼式」を開催しました。



最上町敬老会

9/18

9月18日、中央公民館で敬老会が行われました。喜寿、米寿、白寿などの節目の年齢を迎えた220名の方と14組の「おしどり金婚さん」のお祝いと顕彰が行われました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、内容を全面的に見直し、賀詞等の代表者への伝達式を主体としたものになりましたが、町各種催し物が中止となる中で、さきがけのイベントとなりました。おめでとうございます。



コロナ禍により中止になった行事

- ・第43回最上町福祉の旅
- ・第44回最上町シルバー体育レクリエーション大会
- ・最上広域身体障害者スポーツ大会

11/25・26

最上町老人クラブ連合会 輪投げ大会

11月25日・26日の両日、中央公民館で第6回最上町老人クラブ輪投げ大会が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、3密を防ぐため予選・決勝と2日間にかけての勝負となりました。輪投げの勝敗に関わらず、戦友との再会に笑顔いっぱいの大会となりました。

結果は以下のとおりです。



〈団体〉

- ・1位 月楯チーム ※2年連続5回目
- ・2位 本城Aチーム
- ・3位 法田下Aチーム

〈個人〉

- ・1位 阿部佐賀助 (月楯)
- ・2位 佐藤 久子 (向町)
- ・3位 藤井 忠 (松根)

志茂サロン



下小路サロン



野頭サロン



満沢1サロン



コロナに負けない!

おらいのサロン

コロナ禍ではありませんでしたが、3密や感染予防を行いながら、サロン活動を行いました。健康体操や、コロナウイルスについての講話などコロナ禍でのメニューが取り入れられています。久しぶりの再会に喜ぶ声が公民館に溢れています!

収支決算報告

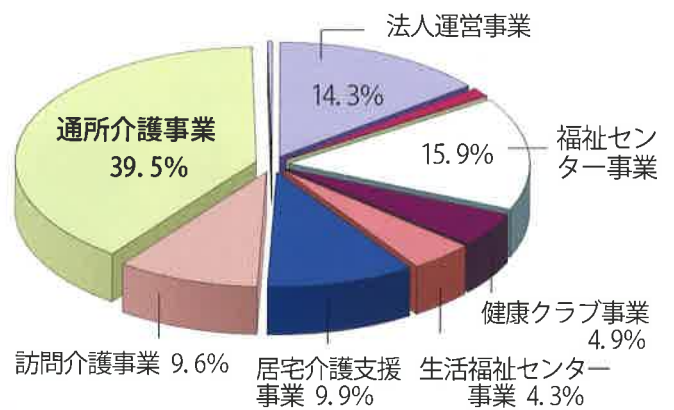
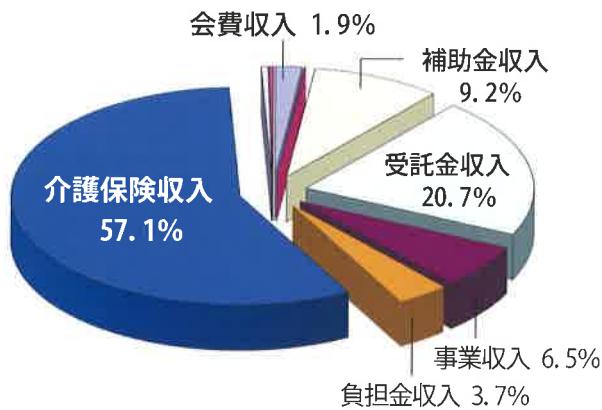
事業活動収入 212,920,506円

・会費収入	3,958,500円
・寄付金収入	186,839円
・補助金収入	19,585,267円
・受託金収入	44,136,382円
・事業収入	13,865,860円
・負担金収入	7,868,000円
・介護保険収入	121,604,383円
・障害福祉サービス収入	1,037,760円
・その他の収入	677,515円

収支差引額
872,789円

事業活動支出 212,047,717円

・法人運営事業	30,303,664円
・共同募金配分金事業	2,742,000円
・福祉センター事業	33,768,413円
・健康クラブ事業	10,322,916円
・生活福祉センター事業	9,098,743円
・居宅介護支援事業	21,020,019円
・訪問介護事業	20,263,201円
・通所介護事業	83,829,669円
・訪問入浴介護事業	699,092円



主な事業内容

【法人運営事業】

1. 法人の運営と管理
 - ・三役会・理事会・評議員会の開催
 - ・監事会の開催
 - ・役員及び評議員合同研修会
 - ・社会福祉協議会長表彰事業
2. 他市町村社会福祉協議会連携事業
 - ・最上地域社会福祉連絡協議会事業
 - ・最北地区ボランティアの輪連絡会事業
3. 遺族会援護事業
4. 生活福祉資金貸付事業
5. 福祉サービス利用援助事業
6. 総合相談事業
7. 日本赤十字社事業

【地域福祉推進事業】

1. 健康福祉推進員事業 (サロン事業)
2. 災害時要配慮者支援活動事業
3. 福祉共育推進事業 (福祉教育)

4. ボランティア活動推進事業
5. 雪国の生活にやさしいまちづくり支援事業

【障害者社会参加促進事業】

1. 身体・知的障害者居場所づくり事業

【町受託事業】

1. 敬老会事業
2. 戦没者追悼式事業

【健康クラブ事業】

1. 国保健康指導事業
2. 国保元気高齢者体力づくり事業
3. メタボリック対策事業
4. 転倒予防教室事業 (介護予防)
5. 元気はつらつクラブ (総合事業)
6. 足腰若返りクラブ
7. 体力づくりサポート事業
8. 体力づくり推進事業
9. ウエルネス健康教室事業

【共同募金配分金事業】

1. 高齢者福祉活動
2. 障がい者福祉活動
3. 児童・青少年福祉活動

4. 地域福祉・福祉育成活動

【ふれあい金庫貸付事業】

1. ふれあい金庫貸付事業

【介護サービス事業】

1. 居宅介護支援事業
 - ・介護サービス事業
 - ・介護予防サービス事業
 - ・介護認定調査事業
2. 訪問介護事業
 - ・介護サービス事業
 - ・介護予防サービス事業
 - ・障がい者自立支援事業
 - ・軽度生活支援事業
3. 通所介護事業
 - ・介護サービス事業
 - ・介護予防サービス事業
 - ・いきいきデイサービス事業
4. 訪問入浴介護事業
 - ・介護サービス事業

【福祉センター指定管理事業】

1. 高齢者総合福祉センター運営事業

【高齢者生活福祉センター事業】

1. 陽だまりの家運営事業



らいん

各部門の最新情報をお届けします

訪問介護



訪問介護事業所「グリーン」では、利用者様の自宅を訪問して身体介護（おむつ交換・衣類の着脱介助・入浴介助・食事介助等）や生活援助（掃除・洗濯・食事の準備や調理・買い物代行等）を中心に行っています。利用者様が地域や自宅で安心して生活出来るように支援させていただきます。



ご利用者のご自宅で、掃除や調理等を一緒に行い支援している様子です

訪問入浴



訪問入浴介護サービス「グリーン」は、寝たきりにより、自力での入浴が困難であったり、家族のサポートだけでは入浴が難しい方などのお宅に看護師1名と介護スタッフ2名の計3名で、訪問入浴専用の浴槽を乗せた訪問入浴車で訪問しています。横になったまま入浴し、看護師による健康チェックも行うので、安心して安全に入浴していただくことができます。

また、ウエルネス温泉のお湯を直接タンクに入れて運ぶため、自宅でも温泉浴を楽しんでいただくことができます。実際にご利用者さんからも「温泉のお湯は温まり方が違うね。」などの声が寄せられ、みなさん訪問入浴のご利用を心待ちにしています。



3名のスタッフが訪問し、温泉のお湯を利用しての入浴サービスを提供しています

健康クラブ



トレーニングジム



後藤一志
トレーナー

自粛生活は人の体力をうばい、姿勢を歪ませ、前向きな心をなえさせます。健康クラブでトレーニングを積み重ねる意味は単なる体力づくりではなく、関節の歪みや姿勢の改善がすすむごとに心の姿勢も前向きになり、自然に笑顔が出てくるようになります。健康クラブ利用者の笑顔の増殖力はコロナの感染力に負けません！



ジュニアアスリートも、じいちゃんばあちゃんも、お父さんお母さんもがんばっています

各種エアロビクス教室



沓澤保代
トレーナー

コロナ禍の暗いイメージをふきとばす明るくパワフルなイベントや、全国各地をリモートでつなぐオンラインレッスン。クリスマスにはムードのあるイルミネーションでささやかですが楽しんでいただきました。

普段のレッスンでは、ソーシャルディスタンスの線の枠内（2メートル四方）で制限された動きとなります。感染防止対策をしっかりとりながら、楽しく充実した時間を過ごしていただいております。



楽しい動きの連続で、あっという間に心の充実感が満タンになります



お気軽にお問い合わせ
ください 43-3180

ほっと



居宅介護支援

指定居宅介護支援事業所「グリーン」の介護支援専門員（ケアマネジャー）です。2000年に施行された介護保険法に基づき、3人のスタッフが介護を必要とする方やそのご家族の必要とする支援を把握し、住み慣れた地域で生活が続けられるよう支援しています。支援を受けていない方でも、介護についてご相談がある方はご連絡下さい。



責任者 生亀 和美



管理者 石山 薫



副主任 大沼 幸子

デイサービス



デイサービスセンター「グリーン」では、一カ月休まずご利用された方に皆勤賞として、表彰状を授与させていただいています。皆勤賞にはその月の出来事やニュースが記載されており、貰った方が後から見返した際に「こんな事があったな」と思い返すことができる物となっています。毎月、楽しみにしている方もいらっしゃる、私たち職員もとても嬉しく思っております。

また、半年間休まずにご利用いただいた方、1年間休まずにご利用いただいた方に「半年皆勤賞」や「1年皆勤賞」をそれぞれ景品付きでお贈りしています。

今後もみなさんが楽しく利用できるデイサービスにしていきたいと思っております。



1か月休まずにご利用され、皆勤賞を贈られた利用者様。とても嬉しそうです。



福祉教育を実践

社会福祉協議会では、大堀小学校6年生と向町小学校4年生を対象に、総合の時間を活用して福祉の学習をサポートしています。コロナ禍ではありましたが、体験学習や地域の方々との交流を通して、最上町の福祉について学びました。



最上校・地域活動部による『イエローダンパーズ』が始動



最上校の地域活動部の有志生徒で結成された『イエローダンパーズ』が、部活動の時間を利用して、地域を散策しながら、除雪中の方々に声をかけて、作業をお手伝いしています。



最上町社会福祉協議会
**令和2年度の
 会費について**
 令和3年1月末
 現在

みなさまからいただいた会費は、地域福祉計画の基本理念「地域の絆をより強め、誰もが安心して暮らせるぬくもりに満ちた町」をめざし、地域福祉活動の事業活動の経費として、大切に活用させていただきます。

戸別会費 3,714,000円 2,476世帯 (1世帯あたり1,500円)

賛助会費 200,000円 25事業所

- ・(株)早坂建具店 ・(有)中村商店 ・(株)三和食品 ・(株)最上振興 ・(有)山口畜産 ・(株)小川建設
- ・(有)本郷自動車 ・(医)永井医院 ・(有)オクヤマ ・おかの薬局 ・(株)大場組 ・(株)鈴木工務店
- ・わらべ唄の宿湯の原 ・(有)大沼産業 ・(株)結城測量設計コンサルタント ・ウエルスハシモト
- ・(株)大沼建設 ・(株)マルシメ大石 (株)ポール社 ・(株)丸徳ふるせ ・佐藤電気工業(有)
- ・(株)押切鉄工所 ・(有)山形化成 ・(株)北山建設 ・(株)ダイユー最上工場 ※順不同、敬称略

善意の紹介 (寄付・物資提供等)



大沼産業様(左)からマスクと消毒液が寄贈

- ・(株)大沼建設 様
- ・斎藤 勝 様 (法田下)
- ・沼田建設 様
- ・最上町ロータリークラブ 様
- ・(有)大沼産業 様

左記のみなさまより、ご寄付をいただきました。このほか、たくさんの方からタオル等の寄付もいただいております。ご提供いただきましたタオル等は、有効活用しています。ご厚情誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。



赤い羽根共同募金

1,663,376円

- ・戸別募金 1,488,000円 (2,480世帯)
- ・企業募金 173,000円
- ・募金箱 2,376円
- ↓
- ・県の事業費 573,000円
- ・町への配分金 1,090,376円

歳末たすけあい運動募金

1,595,773円

- ・戸別募金 1,486,273円 (2,481世帯)
- ・篤志募金 101,500円
- ・個人募金 8,000円
- ↓
- ・地域配分 1,560,000円 (129世帯に配分)
- ・事務費 35,773円

令和2年7月発生

山形県豪雨災害義援金

119,851円 (団体・募金箱)

昨年7月、県内において豪雨により甚大な被害が発生しました。社会福祉協議会では町内4ヶ所に募金箱を設置。受付窓口を開設し12月末までに受け付けた義援金を日本赤十字社山形県支部に送金しましたので、ご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

+ 日本赤十字社会費

1,737,400円

一世帯当たり 700円 協力世帯数 2,482世帯

「日本赤十字社」の活動は、みなさまからご協力いただく会費によって、医療救護活動や救援物資の配布をはじめ、義援金の募集・受付、ボランティア活動などの幅広い活動を行っています。今後ともみなさまのあたたかいご支援をお願いします。

